

5・12「戦争法廃止・憲法改悪阻止—いのちと平和を守る」大行動アピール

私たち医療労働者は、戦争法廃止・憲法改悪阻止、夜勤改善・大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求め、北海道から沖縄まで全国の仲間とともに、本日5月12日、「いのちと平和を守る大行動」に決起しました。

安倍政権は、「立憲主義を守れ」「民主主義を守れ」という国民世論と空前の声に背いて、数の暴力で憲法違反の「戦争法」を昨年9月に強行採決しました。この「戦争法」は世界中で戦争することができる法律です。法律の成立後、政府は救急救命士と准看護師の資格を持つ自衛官を現場で気管切開など医療行為ができるように自衛隊法を改正しようとするなど着々と「戦争」にむけての準備を行なっています。いのちを守る医療・介護労働者として、こうした戦争への道を進んでいる政府の動きを決して許すことはできません。

この立憲主義を否定する安倍政権は、戦争する国づくりと財界・大企業の利益を最優先する政治を進め、医療・介護・社会保障を切り捨てています。「戦争法」で否定されようとしているのは、私たち自身のいのちや暮らし、人権です。平和であってこそよい医療や介護が実現できます。私たち医療・介護ではたらく者は、かつて戦争に動員され協力させられた痛苦の思いから、「ふたたび白衣を戦争の血で汚さない」の固い決意を掲げ、戦争法廃止、社会保障の充実を求めてきました。その先輩から受け継いできた戦争法廃止の決意を内外にあらためて表明します。

今、学者・研究者、シールズやママの会など全国各地で戦争法廃止にむけた共同が広がっています。そして戦争法廃止・安倍政権打倒にむけ、国政選挙での協力を含む野党5党の合意が実現し、国民の手で現実に政治を変える新たな局面が開かれました。

こうした中で、私たち医療労働者は、戦争法廃止で一致する野党の統一候補への支援を呼びかけ、戦争法廃止にむけて全力で奮闘します。

2016年5月12日



京都医療労働組合連合会 執行委員長 松本 隆浩
京都第一赤十字病院職員労働組合 執行委員長 坪田 洋子
京都第二赤十字病院労働組合 執行委員長 重田 洋子
全地域医療JCHO労組京都鞍馬口医療センター支部 支部長 丹羽 美貴
京都桂病院労働組合 執行委員長 土肥 恵美子
京都博愛会労働組合 執行委員長 田辺 金光
堀川病院職員組合 執行委員長 嶋田 新太郎
京都南病院労働組合 執行委員長 小林 千裕
太秦病院労働組合 書記長 依藤 直也
京都医労連バプテスト病院分会 分会長 松下 美佐代
洛西ニュータウン病院労働組合 執行委員長 今城 繁喜
西山病院職員労働組合 執行委員長 由良 光存
宇治おうばく病院職員組合 執行委員長 松岡 真紀
美山診療所労働組合 執行委員長 岩谷 優
京都ルネス病院労働組合 執行委員長 上田 明美
もみじヶ丘病院労働組合 執行委員長 土井 敏行
福知山市民病院労働組合 執行委員長 井上 悟志
丹後ふるさと医療福祉労働組合 執行委員長 堀江 智世
五和の園労働組合 執行委員長 大村 信行
中野眼科労働組合 組合長 村上 智香
京都予防医学センター労働組合 執行委員長 坂中 貴光
日本医学臨床検査研究所労働組合 執行委員長 木村 理
京都府医師会労働組合 執行委員長 西村 裕子
京都府保険医協会事務局労働組合 執行委員長 加藤 俊勝
京都民主医療機関労働組合 執行委員長 勝野 由起恵
全日本国立医療労働組合舞鶴支部 支部長 廣瀬 昇
福祉保育労青いとり保育園分会 分会長 北垣 光代
京都府職員労働組合洛南病院支部 支部長 直島 進
京都医労連個人加盟分会 副分会長 香川 裕一
(順不同)
以上